

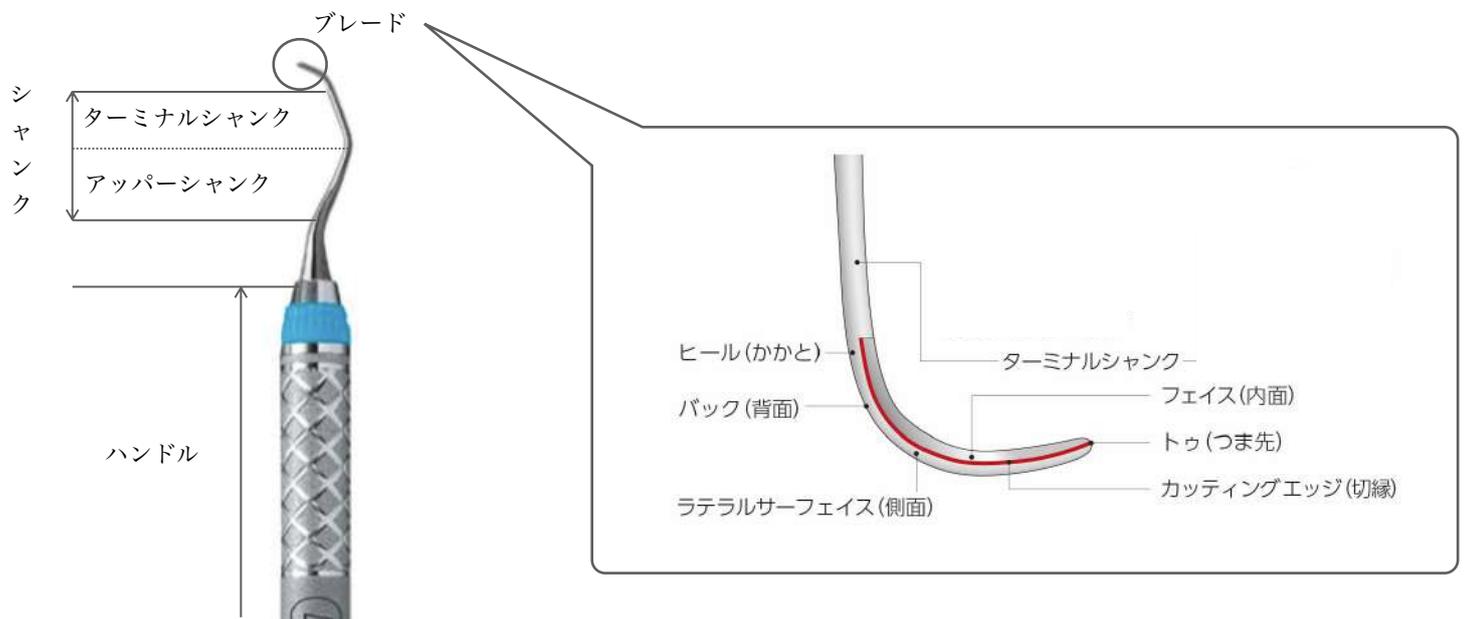
ベーシック

シャープニング&ハンドスケーリング

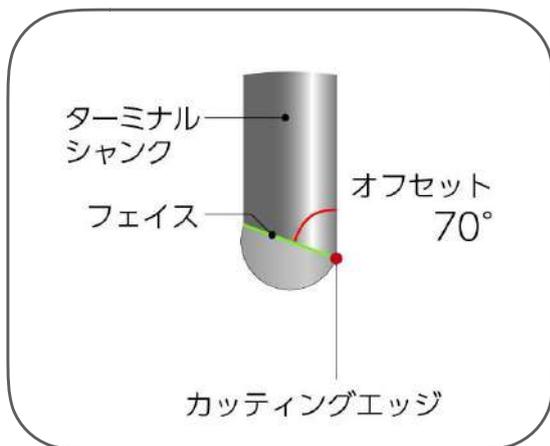


# スケーラーのデザインを理解しよう

## 1、各部位の名称



## 2、キュレットスケーラーの特徴



### 特徴

- ①フェイスはターミナルシャンクに対して約70°に傾いている。  
スケーラーの番号が違ってても、この関係は変わらない。
- ②カッティングエッジはヒールからトゥまで直線
- ③トゥは丸い

# シャープニング

## シャープニング2つのゴール

1、カッピングエッジをシャープにする

2、スケーラーの形態を維持する

### STEP 1 カッピングエッジの確認

①テストスティックを使い確認する

②ホワイトラインの有無で確認する



- ・エッジが鈍い場合、滑る感じで食い込まない。
- ・削るようにするとカッピングエッジが鈍くなってしまうので注意！

- ・エッジからの光反射で判断する方法。
- ・エッジが鈍い場合にホワイトラインが現れる。

\*最初はホワイトラインがわからなかったとしても、テストスティック→ホワイトラインの確認を繰り返すことでスケーラーの状態を「見る目」を養うことができる。

### STEP 2 姿勢を正す

背筋をまっすぐ伸ばす

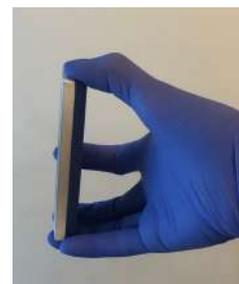
### STEP 3 スケーラーとストーンを持つ

右利き:カッピングエッジが右側にくるように  
左利き:カッピングエッジが左側にくるように

利き手に持つ

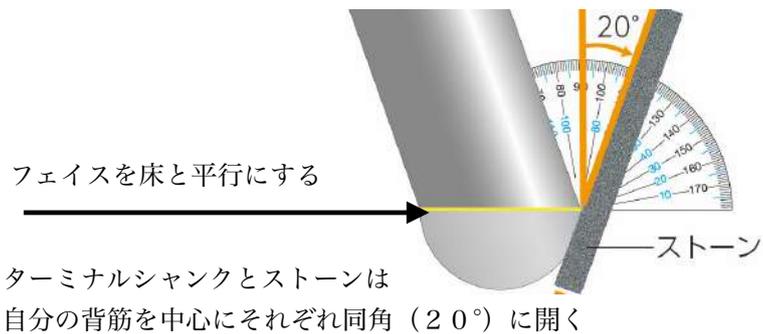


or

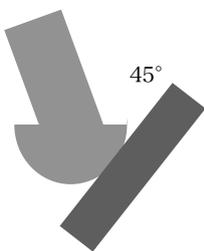


\*スケーラーもストーンもぶれないようにしっかり把持

## STEP 4 ストーンとスケーラーの角度を決める

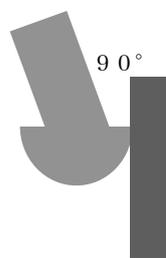


✘ 角度が大きすぎると...



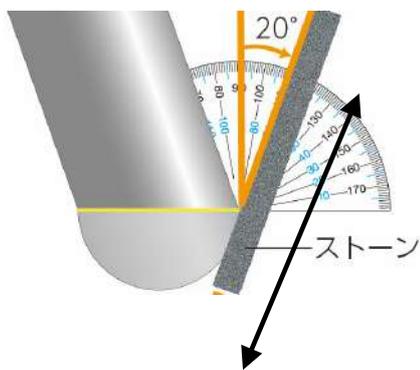
いつまでたってもシャープなエッジ  
ができず、側面が2面になる。

✘ 角度が小さすぎると...



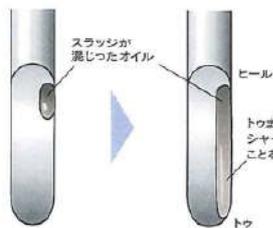
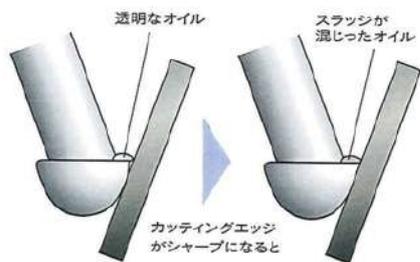
- ・シャープなエッジはすぐにできるが  
鈍くなるのが早い。
- ・シャープニングでの修正が難しい。

## STEP 5 ストーンを動かす



- ・一直線的に動かす
- ・バリが出ないように  
ダウンストロークで終わる

👁️ 角度は正しい? → スラッジに注目!  
= 金属の削りカス



実際に口腔内で使用した  
スケーラーは先端1/3だけ  
磨耗しているのでヒール  
に近いところから順番  
にスラッジが現れる。

## STEP 6 カッティングエッジができたか確認する

STEP 1 の手順で行う。

カッティングエッジができているか、変形はないかよく観察しましょう。わかりにくい場合は新品のスケーラーと見比べるとわかりやすい。

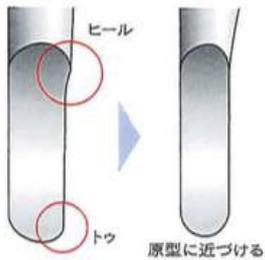
<よくある失敗例>

- ・ホワイトラインがなくなる
- ・テストスティックに食い込まない
- ・先端が尖っている
- ・多面になっている
- ・側面が荒れている



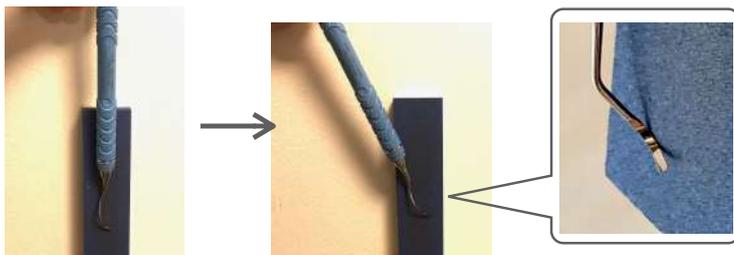
失敗の原因がどのSTEPにあるのか考えてみよう！

## STEP 7 形態が維持できているか確認する



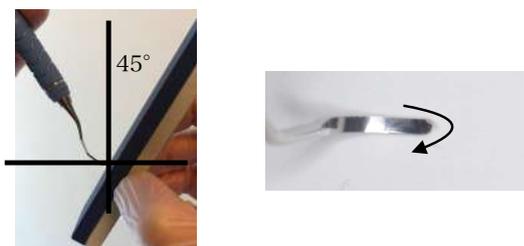
カッティングエッジをシャープニングするとヒールとトゥ（し直線部分以外のところ）に出っ張りや尖りが出てくる。形態維持のため必要に応じて整えることで長くスケーラーを使うことができる。

## STEP 8 ヒールをシャープニングする



- ①ハンドルをターミナルシャंक側に倒す。
- ②ヒール部分に接触させ、一直線にストロークする。

## STEP 9 トゥをシャープニングする



- ①トゥを右側に向ける。
- ②ストーンを45°に当てる。
- ③トゥの周りを円を描くようにストロークする。

# SRP

## 1 持つ



執筆状変法



親指、中指、2本で把持  
人差し指は添える程度  
丸く持つ



鉛筆持ち



スケーラーが  
立ちすぎている

親指はみだし持ち

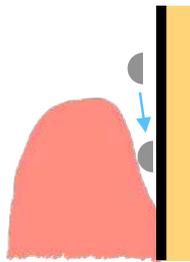


どれもスケーラーの操作を邪魔してしまう

## 2 挿入する



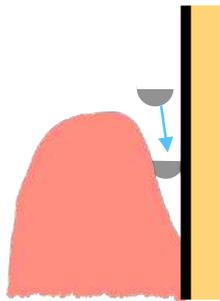
0° 挿入 (もしくは0度近く)



- ① トウからフェイスを根面に沿わせて (レストは適当なところにおいてOK)
- ② 歯石 (根面の付着物の下に回り込む)



角度が大きすぎると

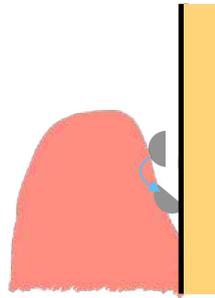


歯石 (根面の付着物の下に回れない)  
歯肉を傷つける

### 3 角度を決める



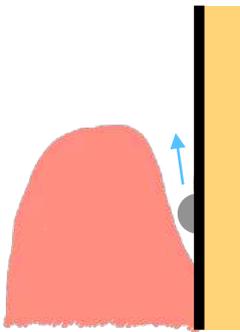
第一シャンクを根面と平行に



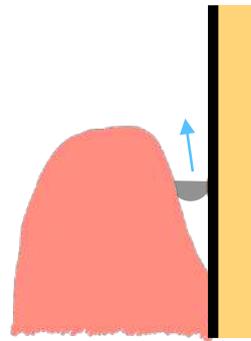
70° になるように設計されている



角度が、小さすぎたり、大きすぎたりすると



70° 以下になると  
歯石を舐める



85° 以上になると  
歯肉、根面を傷つける

### 4 レストを置く

薬指でとる

- 1, 術歯、隣在歯
- 2, フィンガーオンフィンガー
- 3, 対合歯
- 4, 対角歯

安定しやすい  
↑  
不安定になりやすい

術歯、隣在歯レスト

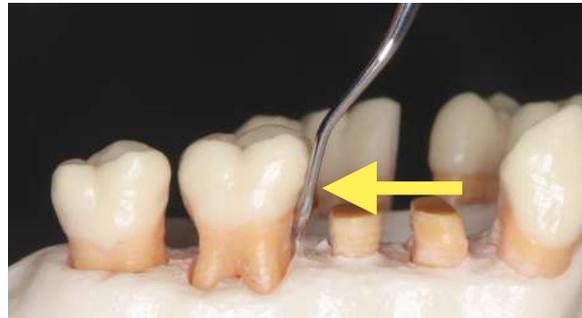


対角歯レスト

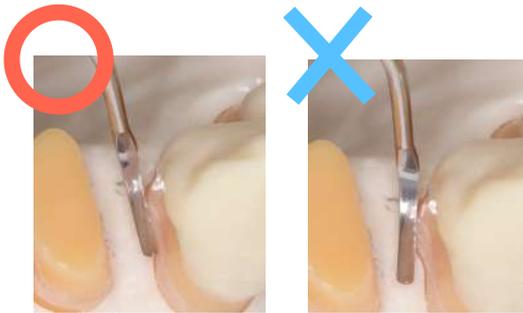


## 5 側方圧をかける

ブレードに側方圧をかける



エッジの向きによって親指、中指変わる



## 6 ポジショニングを決める

術歯を直視、ミラー視できる場所で正しい姿勢をとる

体が曲がっていない

手首がまっすぐ



足がしっかり床についている

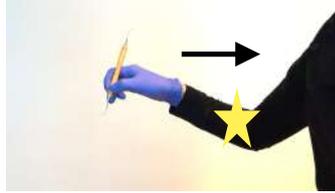
## 7 動かす

### 腕を動かす

引く動き



水平ストローク



前腕回転運動

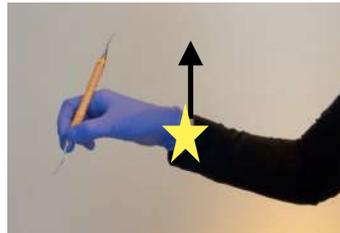


左手（利き手と反対）でサポートすることができる



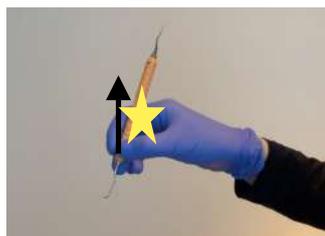
### 手首を動かす

手根関節運動



### 指を動かす

手指屈伸運動



腕→手首→指の順で術者負担は大きくなる。  
第一シャンクと根面の角度が変わらない動きを選択しよう！